国語

③ のぞみ

一ばん

はやい

れっ車は

しんかんせんです。

日本ぜんこくの

大きな

まちを

はしる、

しょに

かかれています。

はしれます。 いう (4)「のぞみ」に よりも しんかんせんには、「のぞみ」や 「こだま」と えに いくのを、たのしみに 名まえが 「のぞみ」 の ついて のって ほうが います。 おじいちゃ うんと はやく して (3) こだま」 ん ι, 0 る **(**)

ことばが 入ります。

[かいせつ]

(ー)から (3)までは 文しょうの

つぎのば

しながわ・目黒こどもスクール

国語

(a) 木の はが ひらひらと おちて きました。ら、木の はが ひらひらと おちて きました。 う、木の はが びらひらと おちて きました。 さんを よんで、みんなで たき火を しました。 さんを よんで、みんなで たき火を しました。 さんを よんで、みんなで たき火を しました。 ら、木の はが ひらひらと おちて きました。

ことばが 入ります。(3)木の はが おちる ようすを あらわす

[かいせつ]

(一)と (2)は 文しょうの

つぎの

ばしょ

に かかれて います。

ぼくと おにいちゃんが こうえんに いった(-)

[かいせつ]



3	2	<u></u>
のぞみ	あんぜん です。	こしんかんせん
こだま	す。とてもはやい	

ます。 車は はしれます。 いう やいだけで 日本の 文しょうの しんかんせんには、「のぞみ」や 「のぞみ」 しんかんせんです。 名まえが れっ車の なく、とても つぎの の ついて ほうが 中で、 ばしょに います。「こだま」よ あんぜんです。 しんかんせんは ば うんと L 「こだま」 かか はやい はやく れて れっ と は 1,

しながわ・目黒こどもスクール

リトライ 2/2

になった。	はっぱいらっちこくに

[かいせつ] 文しょうの つぎの ばしょに

かかれて

1,

ます。

しました。 からだが たくさんの はっぱが しょうけんめい 「この゛はっぱを゛あつめて゛火を゛つけたら、 たき火が できるよ。」 おにいちゃんが いったので、ぼくは いっ おかあさんを よんで、みんなで たき火を はっぱを ぽかぽかに おちて あつめました。そし いました。 なりました。

国語

かには

せっけんなどに

つかわれる

ばあいが

あります。

おこめは、ずっと

むかしから

日本に

ありま

むかしの

人 も

おこめを

いたの

かし。

すや

みりんなどの

ちょうみりょう。

IJ

たとえば、

おだんごや

おせんべいなどの

お

いろいろな ものに つかわれて います。いろいろな ものに さいます。 に かかれて います。 ばけでは 文しょうの つぎの ば

なく、

ば」が こたえに なります。 る ものが でて きて いるので、「たとえ(3)□の あとに おこめが つかわれて い

です。

[かいせつ]

ばしょ

3	2	Ĵ
とてもこまってしまう。	おだんごや おせんべいなどおだんごや おせんべいなど おがし。すや みりん かりん おかし。すや みりん かりん おがんごや おせんべいなど	つかわれて いるから。おこめは いろいろな ものに

う。

ほかには

せっけんなどに

つかわれる

ば

どの

おかし。すや

みりんなどの

ちょうみりょ

あい

が

あります。

います。

たとえば、

おだんごや

おせんべいな

おこめは

いろいろな

ŧ

のに

つかわれて

かかせません。(3)

おこめが

ないと とても

ですから、おこめは

わたしたちの

くらしに

まって

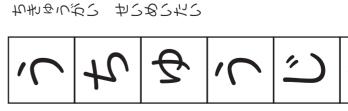
しまいます。

ます。 文しょうの つぎの ばしょに かかれて

1,

[かいせつ]

しながわ・目黒こどもスクール



かいがんで およいだり あそぶこと

さくらの はなびらが ゆきの ように まう ようす

とけいの はりの まわりかたの アン

ひこうきの とおったあとに できる ほそながい くも

むかし むかし から はじまる おはなし

ひらがなを ならびかえて ことばを つくろう!

文章問題-/文しょうもんだい4

